



全国生命保険労働組合連合会 (生保労連)

中央書記長 小山 貴史 氏

・2021春闘は、「厳しい時だからこそ『人への投資』の継続が必要」との認識の下、組合員の雇用と賃金を守ることはもとより、社会環境の変化に対応した営業活動や働き方の実現をはかる取組みを展開し、組合員の頑張りに応える多くの成果を得た。
・今後は、引き続き雇用と賃金を守ることに注力するとともに、現場の声に耳を傾けつつ制度・施策の定着・改善に取り組み、働きがいや生産性のさらなる向上につなげたい。

1. 2021春闘のポイント

— 2021春闘方針のポイントや重点事項、それに込められた思いや背景についてお聞かせください。特に、2021春闘は、「コロナ禍のもとでの闘争」でしたが、これまでの取り組みと比べて留意された点などがあれば教えてください。

コロナ禍で先行き不透明な状況の中、組合員は様々な不安を抱えながら、それぞれの持ち場で、お客さまや地域・社会のため、日々懸命に業務に取り組んでいる。こうした苦しい時だからこそ、改めて労働組合の役割を発揮し存在意義を示さなければならないとの想いから、2021春闘においては、生保労連として前倒しの要求策定論議を行いつつ、機運の醸成に努めた。

具体的には、2020年8月の定期大会で「生保産業の社会的使命達成に向けた特別決議」を採択し、①生保産業の社会的使命の遂行、②安心して働き続けられる環境の整備、③組合員一人ひとりの役割発揮のサポート、の3点に取り組むことを確認するとともに、本決議の趣旨を踏まえ、例年とは異なる以下のような取組みを展開した。

- ・「2021春闘に向けた生保労連の基本認識」の確認(10月)
- ・単組委員長・書記長合同会議の開催による心合わせ(11月)
- ・生保協会との労使協議会における理解要請(11月)
- ・生保労連機関紙への単組委員長の決意表明掲載(1月)

上記の「基本認識」では、コロナ禍を乗り越え、生保産業の社会的使命を果たしていく原動力は「人」の力に他ならないこと、厳しい時だからこそ「人への投資」の継続を通じて組合員のモチベーションや働きがいの向上、能力・スキルの向上をはかる必要があること、などの認識に立ったうえで、組合員の雇用や賃金を守るとともに、社会環境の変化に対応した営業活動や働き方の実現をめざすことを、春闘論議のスタートにあたって確認し、「2021春闘方針」の決定(1月)へとつなげた。

2. 賃金・一時金関係

— 要求のポイントや結果に対する評価、今後に向けての課題についてお聞かせください。

組合員の多くを占める営業職員の賃金は出来高給の比重が大きいことから、営業職員からは「営業支援策の充実」を求める声が多い。労働組合としても、それに応えていくことが何よりの現場支援となり、収入の向上につながると捉えている。このような認識の下、生保労連は2021春闘において、営業職員関係については、引き続き「営業支援策の充実」を最重要課題と位置付けつつ、これまでの「営業支援策取組み指針」に加え、「コロナ関連営業支援策取組み事例」を新たに策定し、各組合の取組みの後押しに努めた。各組合において、営業職員の期待に応えるべく精力的な交渉が展開された結果、オンラインでお客さま接点を確保できるインフラ整備を中心に、全組合で収入の確保・向上につながる幅広い支援策を獲得することができた。また、営業職員の雇用や賃金を最大限守っていく観点から、資格・給与保障等の「下支え」にも並行的に取り組み、全組合で対応を引き出すことができた。

内勤職員関係については、「現行水準を確保した上で、社会環境の変化に対応するための処遇改善に最大限取り組む」方針を掲げた。その趣旨は、コロナ禍の厳しい環境の中、多岐にわたる業務を通じて懸命にお客さまを支えている内勤職員の雇用・賃金を守ること、急速に進んでいる働き方の変化(特にテレワークの普及・拡大)への対応を支援することにあった。各組合において精力的な交渉が展開された結果、臨時給与(一時金)の減額を余儀なくされる組合もあったものの、多くの組合で現行の賃金水準の確保がはかられるとともに、テレワーク関連手当の創設や、全従業員を対象とした特別一時金の支給、業務性質によりテレワークができない従業員に対する特別手当の支給がはかられるなど、総じて内勤職員の頑張りに応える対応を引き出すことができた。

3. 賃金関係以外

― 要求のポイントや結果に対する評価、今後に向けての課題についてお聞かせください。

生保労連は、全組合が取り組む「統一共闘課題」として、年間を通じて「社会環境の変化に対応した働き方の実現に向けた取組みの推進」を掲げて取り組み、これまでに、営業職員関係では新たに導入されたツールを活用したオンラインによる営業活動、内勤職員関係ではテレワークをはじめとした柔軟な勤務体制の整備を中心に対応がはかられている。

こうした対応はこれまでの営業活動や働き方の幅を広げ、前者については、移動にかかる時間やコストを削減できる分、お客さまとの関係強化・ネットワーク拡大に注力することができるし、自身にとって必要な知識・スキルの習得に充てることもできる。後者については、通勤による精神的・身体的負担の軽減、育児や介護等との両立、生活時間の充実につながる事が期待される。このように環境変化に対応した働き方を実現することで、組合員一人ひとりの働きがいや生産性のさらなる向上、ひいてはお客さまへの一層の貢献につなげることができると考えている。

一方で、これらの制度・施策についてはコロナ禍の中で感染防止対策として緊急的に導入された側面もあることから、未だ効果やメリットを十分に享受できていないとの声も寄せられており、様々な観点からクリアすべき課題が多いと認識している。それだけに今後は、現場の声に耳を傾けつつ、期待される効果が一層発揮されるためにはどうすればよいか、労使でしっかりと現状・課題を共有し、制度・施策の定着・改善に向けた取組みを進めていくことが重要であると考えている。また、オンラインによる営業活動やテレワークが普及・拡大する中で、ワークとライフの境界が曖昧となり、長時間労働やメンタル不全に陥るおそれもあることなどから、適正な労働時間管理をはじめ、ワークとライフの充実に向けた取組みも一層重要になると考えている。

4. まとめ

― 今後の課題(中長期的な課題)等についてお聞かせください。

生保産業の帰趨は一人ひとりの営業職員がお客さまや地域・社会にどれだけ貢献し、どれだけ支持・信頼されるかにかかっているといっても過言ではない。そのため、高い職業意識・能力をもつ営業職員の育成に向けて、教育・育成体制の充実や魅力ある労働条件・働き方の整備を一層進めていく必要がある。このような認識の下、生保労連は、2年間にわたり「営業職員体制に関するプロジェクト」を設置して検討を行い、7月に「最終報告」を取りまとめた。「最終報告」では、営業職員にしかなし得ない「営業職員ならではの強み」を改め

て捉え直しつつ、今後めざすべき活動や、その実現に向けた対策を提言した。今後は、提言内容を幅広く周知しつつ、各組合とともに、お客さまと地域・社会に一層貢献できる営業職員体制の実現に向けた取組みを着実に進めていきたい。

また、生保労連は本年1月に「ジェンダー平等／ワーク・ライフ・バランス」に関する2025年までの取組み方針を新たに策定した。この中期方針は、これまで別々の方針を立てて取り組んでいた「ジェンダー平等」と「ワーク・ライフ・バランス実現」を密接不可分のものとして一体的に取り組み、中期的な展望をもって、「誰もが働きがい・生きがいのもてる職場の実現」をめざすこととしている。中期方針の中では、取組み期間での達成をめざす「ガイドライン(数値目標)」(年次有給休暇取得日数の増加、男性の育児休業取得状況の改善)を設定するなど、できるだけ目に見える形で進捗を把握しながら、地に足をつけた取組みを進めていきたいと考えている。

さらに2021年度は、生保労連として初めて「管理職の働き方や役割の変化」に焦点を当てた検討を行うこととしている。なぜ労働組合が管理職のあり方を検討するのか。その理由としては、管理職は組合員の職場環境や働き方、さらには人材育成に大きな影響を与える存在であり、組合員の働きがいやモチベーションに大きく関わっていること、また、管理職は組合員の多くにとって目標の一つでもあり、そのあり方は組合員の将来展望やキャリア形成に大きく関わっていることが挙げられる。女性活躍の視点からも、管理職昇進がその一つの形となっている中で、管理職のあり方は女性活躍を大きく左右する。管理職経験が原則ない組合員の視点からのチャレンジングな検討にはなるが、組合員が働きがいや将来展望を一層持てるようにしていくための一助にしたいと考えている。

依然として先行き不透明な状況を乗り越えていくうえで大きな原動力となるのは、現場を支える組合員である。生保労連は、懸命に業務に取り組んでいる組合員の働きに精一杯報いるため、その声にしっかりと耳を傾けながらさまざまなチャレンジしていきたい。

生保労連(全国生命保険労働組合連合会):生保産業で働く労働者で組織された、生保産業唯一の産業別労働組合。結成は1969年で、一昨年結成50周年を迎える。25万組合員のうち、営業職組合員が7割超、女性組合員も8割超を占める。「組合員や社会から共感・信頼を得られる運動」を運動の基調としている。

小山 貴史(こやま・たかし)氏
2003年住友生命保険相互会社入社。2017年住友生命労働組合特別中央執行委員、2018年生保労連中央副書記長を経て、2020年より現職。

(インタビュー日 2021年7月28日)